

2019年度第3四半期（4～12月）決算について

2020年1月31日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第3四半期 経営成績・財政状態	．．．	2
□第3四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2019年度 業績見通し（連結・単独）	．．．	4
□2019年度 配当予想	．．．	5
□参考資料	．．．	6

■ 第3四半期 経営成績・財政状態

経営成績 (累計)

(単位：億円)

	連 結				単 独			
	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増 減 (A)-(B)	前 年 同期比% (A)/(B)	当第3四半期 (C)	前第3四半期 (D)	増 減 (C)-(D)	前 年 同期比% (C)/(D)
売 上 高	5,251	5,307	△ 55	99.0	5,000	5,100	△100	98.0
営 業 利 益	160	294	△134	54.4	113	262	△149	43.1
経 常 利 益	79	207	△128	38.1	43	181	△138	23.8
四 半 期 純 利 益	59	121	△ 62	48.5	40	107	△ 67	37.2
1株当たり四半期純利益	23円55銭	53円99銭	△30円44銭		14円30銭	47円14銭	△32円84銭	

※ 連結の「四半期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表す

財政状態

(単位：億円)

	連 結			単 独		
	当第3四半期末 (A)	前年度末 (B)	増 減 (A)-(B)	当第3四半期末 (C)	前年度末 (D)	増 減 (C)-(D)
総 資 産	19,784	19,549	234	19,042	18,867	174
純 資 産	2,309	2,284	25	1,834	1,851	△ 16
自己資本比率	11.0%	11.1%	△0.1%	9.6%	9.8%	△0.2%

■ 第3四半期 連結決算の概要

売上高 (減収)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などによる増加はありましたが、 他社販売電力量の減少などにより、 前年同期に比べ55億円減少の5,251億円となりました。
経常利益 (減益)	償却方法変更などによる減価償却費の減少はありましたが、 水力発電量の減少による燃料費の増加や、 安定供給に万全を期すための設備経年化への対応などによる修繕費の増加などにより、 前年同期に比べ128億円減少の79億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	経常利益の減少はありましたが、 前年同期は平成30年北海道胆振東部地震に伴う特別損失の計上もあったことなどから、 前年同期に比べ62億円の減少にとどまり、59億円となりました。

■ 2019年度 業績見通し

<2019年10月30日に公表した業績見通しから変更なし>

- ・販売電力量は、当第3四半期では概ね計画通り推移していることから、10月公表値と同程度になる見込みです。
- ・また、通期の連結業績につきましても、至近の燃料価格の上昇傾向を踏まえ1月以降の原油CIF価格を見直しておりますが、経営基盤強化推進委員会のもと、実施段階での更なる効率化を進めていることから、10月公表値と同程度になる見込みです。

(単位：億円、億kWh)

		2019年度見通し (A)	2018年度実績 (B)	増減 (A)-(B)
連 結	売上高	7,550程度	7,522	30程度
	営業利益	420程度	422	同程度
	経常利益	300程度	301	同程度
	親会社株主に帰属する 当期純利益	250程度	223	30程度
単 独	売上高	7,210程度	7,212	同程度
	営業利益	370程度	370	同程度
	経常利益	260程度	262	同程度
	当期純利益	230程度	202	30程度
(対前期増減率)		(5%程度)		
販売電力量		239程度	228	11程度

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	109程度	111	△ 2程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	68.0程度	72.1	△ 4.1程度

※1月以降、為替レートは110円/\$程度、原油CIF価格は70\$/bl程度として想定しております。(前回原油CIF価格の想定:65\$/bl)

- ・当第3四半期の連結経常利益は79億円となりましたが、第4四半期(1~3月)では、小売販売電力量が1年で最大となる中で、石油火力より安価なLNG火力発電所が高稼働し利益に大きく寄与することや、高圧検針日の変更による影響に加え、経営基盤強化推進委員会のもと、効率化・コスト低減にも取り組んでいることから、通期では10月公表値と同程度の300億円程度となる見通しです。

■ 2019年度 配当予想

2019年度の期末配当予想につきましては、2019年10月30日に公表した数値から変更はありません。

【1株あたり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2018年度	－	10円	10円	－	3,000,000円	3,000,000円
2019年度	5円	5円 (予想)	10円 (予想)	1,500,000円	1,500,000円 (予想)	3,000,000円 (予想)

■ 参考資料

連結決算

- ・収支比較表
- ・連結対象会社

単独決算

- ・販売電力量
- ・供給電力量
- ・収支比較表（収益）
- ・ " （費用・利益）
- ・第3四半期実績－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

業績見通し（単独決算）

- ・経常利益の変動要因（対前年度比較）

(白紙)

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)
経常収益	営業収益 (売上高)	5,251	5,307	△ 55	99.0
	電気事業営業収益	4,986	5,087	△ 100	98.0
	その他事業営業収益	265	219	45	120.7
	営業外収益	14	17	△ 3	81.8
	合 計	5,265	5,324	△ 58	98.9
経常費用	営業費用	5,091	5,012	79	101.6
	電気事業営業費用	4,857	4,820	37	100.8
	その他事業営業費用	233	192	41	121.6
	営業外費用	95	104	△ 9	91.3
	合 計	5,186	5,116	70	101.4
[営業利益]		[160]	[294]	[△134]	[54.4]
経常利益		79	207	△ 128	38.1
渴水準備金引当又は取崩し		△ 8	14	△ 22	—
特別損失		—	40	△ 40	—
税金等調整前四半期純利益		88	153	△ 64	57.6
法人税等		25	28	△ 3	89.6
四半期純利益		62	124	△ 61	50.1
非支配株主に帰属する四半期純利益		3	2	0	123.7
親会社株主に帰属する四半期純利益		59	121	△ 62	48.5

(参考)

四半期包括利益	79	106	△ 27	74.1
---------	----	-----	------	------

連結子会社		持分法適用会社
北海電気工事(株) ※1	北電興業(株)	北電総合設計(株)
北海道パワーエンジニアリング(株)	苫東コールセンター(株)	(株)ほくてんアソシエ
ほくてんエナジー(株)	ほくてんサービス(株) ※1	石狩LNG棧橋(株)
北海道総合通信網(株)	ほくてん情報テクノロジー(株)	
北海道電力送配電事業分割準備(株) ※2		
北海道電力ソリューション(株) ※3		

- ※ 1 北海電気工事(株)は、2019年4月1日、同社を存続会社として北海道計器工業(株)と合併しました。また、同日、ほくてんサービス(株)の配電事業を吸収分割により承継しました。
- ※ 2 北海道電力送配電事業分割準備(株)は、2019年4月1日に設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間から連結子会社に含めています。
- ※ 3 北海道電力ソリューション(株)は、2019年9月2日に設立したことに伴い、第2四半期連結会計期間から連結子会社に含めています。

・小売販売電力量は、お客さまニーズを捉えた営業活動の推進により、高圧・特別高圧において販売電力量が増加したことから、合計で15,874百万kWh、対前年伸び率は+0.3%と増加に転じました。

(単位：百万kWh)

			当第3四半期 累計期間 (A)	前第3四半期 累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)
小 売	低 圧	電 灯	6,215	6,554	△ 339	94.8
		電 力	1,147	1,165	△ 18	98.5
		計	7,362	7,719	△ 357	95.4
	高圧・特別高圧		8,512	8,112	400	104.9
	計		15,874	15,831	43	100.3

(参 考)

(単位：百万kWh)

他社販売電力量	2,168	3,145	△ 977	68.9
小売・他社販売電力量合計	18,042	18,976	△ 934	95.1

・泊発電所が全基停止していることに加え、出水率が86.2%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用を図ったことから、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 累計期間 (A)	前第3四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)
自 社	(出水率%) 水 力	(86.2%) 2,615	(116.1%) 3,466	(△ 29.9%) △ 851	75.5
	火 力	12,400	12,838	△ 438	96.6
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	89	104	△ 15	84.9
	計	15,104	16,408	△ 1,304	92.1
他 社	受 電	5,415	5,006	409	108.2
	送 電	△ 2,168	△ 3,145	977	68.9
	計	3,247	1,861	1,386	174.5
揚 水 用		△ 184	△ 212	28	86.6
合 計		18,167	18,057	110	100.6

単独決算－収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第3 四半期 累計期間 (A)	前第3 四半期 累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	前年 同期比% (A)/(B)	主な増減要因
売上高	5,000	5,100	△100	98.0	
電灯料	1,764	1,860	△96	94.8	【増加要因】 ・再エネ賦課金の増加
電力料	2,066	2,013	53	102.7	【減少要因】 ・販売電力量構成の変動による影響等 （販売単価が低廉な高圧・特別高圧分野の割合の増加）
その他	1,169	1,226	△56	95.4	【増加要因】 ・再エネ特措法交付金の増加
地帯間・他社販売 電力料（再掲）	249	316	△67	78.7	【減少要因】 ・地帯間・他社販売電力料の減少 ・託送収益の減少
営業外収益	21	19	2	112.3	
経常収益	5,021	5,119	△97	98.1	

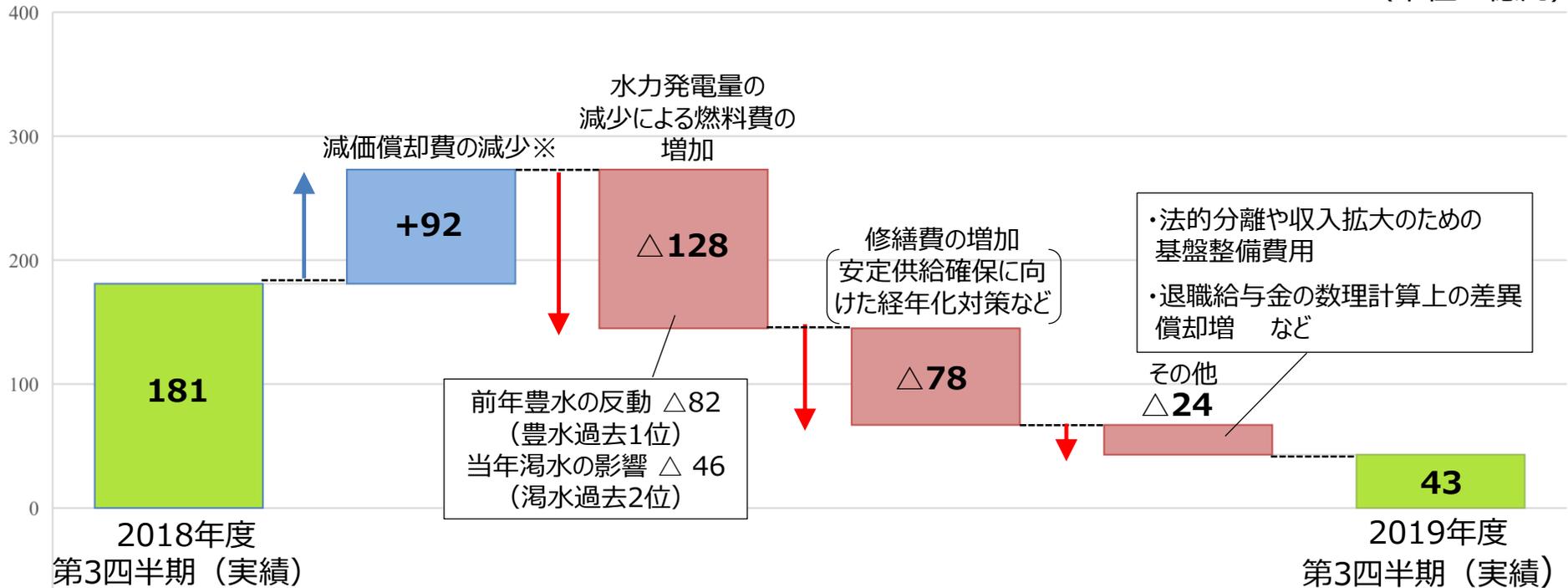
単独決算－収支比較表（費用・利益）

（単位：億円）

	当第3 四半期 累計期間 (A)	前第3 四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前 年 同期比% (A)/(B)	主 な 増 減 要 因
人件費	428	407	20	105.1	・退職給付費用の増加
燃料費・購入電力料	1,994	1,990	4	100.2	【増加要因】 ・水力発電量の減少 ・再生可能エネルギー買取増
燃料費	838	962	△123	87.2	【減少要因】
購入電力料	1,156	1,028	127	112.4	・他社販売電力量の減少 ・燃料価格の低下
修繕費	573	495	78	115.8	・安定供給確保に向けた経年化対策費用の増加
減価償却費	512	605	△ 92	84.7	・減価償却方法の変更 ・前年度取得設備の償却費増加
支払利息	83	91	△ 7	91.7	・金利の低下
その他費用	1,384	1,346	37	102.8	・法的分離などに伴う基盤整備費用の支出
経常費用	4,978	4,937	40	100.8	
[営業利益]	[113]	[262]	[△149]	[43.1]	
経常利益	43	181	△138	23.8	
渴水準備金引当又は取崩し	△ 8	14	△ 22	－	
特別損失	－	41	△ 41	－	・平成30年北海道胆振東部地震に伴う特別損失計上の反動
税引前四半期純利益	52	125	△ 73	41.5	
法人税等	12	18	△ 5	67.2	
四半期純利益	40	107	△ 67	37.2	

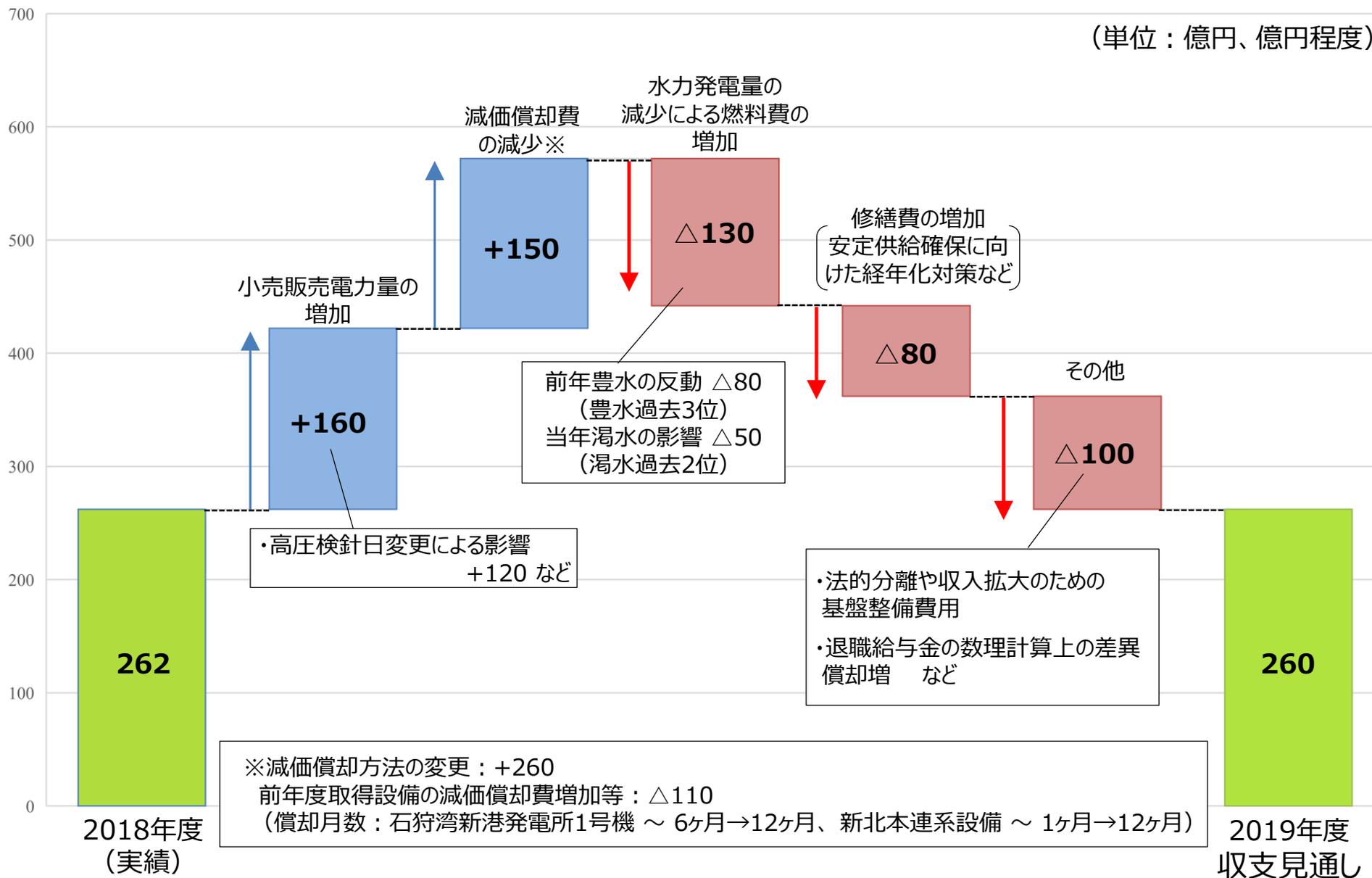
第3四半期実績（単独決算）－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）



※ 減価償却方法の変更：+189
 前年度取得設備の減価償却費増加等：△97
 償却月数：石狩湾新港発電所1号機 ～ 3ヶ月→9ヶ月（償却開始:2018年10月）
 新北本連系設備 ～ 0ヶ月→9ヶ月（償却開始:2019年 3月）

業績見通し（単独決算）－経常利益の変動要因（対前年度比較）





2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 北海道電力株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 9509 U R L <https://www.hepco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部決算グループ (氏名) 江口 尚仁 TEL 011-251-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	525,167	△ 1.0	16,033	△ 45.6	7,924	△ 61.9	5,902	△ 51.5
2019年3月期第3四半期	530,700	2.0	29,481	97.7	20,782	382.2	12,158	238.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,915百万円(△25.9%) 2019年3月期第3四半期 10,676百万円(235.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	23.55	—
2019年3月期第3四半期	53.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,978,472	230,979	11.0
2019年3月期	1,954,981	228,417	11.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 218,570百万円 2019年3月期 216,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	5.00	—		
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	755,000	0.4	42,000	△ 0.5	30,000	△ 0.6	25,000	11.8	114.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、添付資料P.6「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	215,291,912株	2019年3月期	215,291,912株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,787,158株	2019年3月期	9,782,389株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	205,507,122株	2019年3月期3Q	205,514,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、本日(2020年1月31日)公表いたしました「2019年度第3四半期(4~12月)決算について」のP.4「2019年度 業績見通し」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3,000,000.00	3,000,000.00
2020年3月期	—	1,500,000.00	—		
2020年3月期(予想)				1,500,000.00	3,000,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(参考) 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	721,000	△ 0.0	37,000	△ 0.1	26,000	△ 1.1	23,000	13.7	105.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
固定資産	1,752,300	1,767,650
電気事業固定資産	1,223,554	1,219,822
水力発電設備	214,181	210,318
汽力発電設備	200,842	198,874
原子力発電設備	195,337	181,411
送電設備	188,204	188,931
変電設備	102,275	105,931
配電設備	280,540	282,950
業務設備	37,741	44,323
その他の電気事業固定資産	4,430	7,081
その他の固定資産	54,182	54,453
固定資産仮勘定	167,012	165,668
建設仮勘定	159,864	158,251
除却仮勘定	164	434
使用済燃料再処理関連加工仮勘定	6,982	6,982
核燃料	197,125	215,680
加工中等核燃料	197,125	215,680
投資その他の資産	110,424	112,025
長期投資	47,173	48,652
退職給付に係る資産	14,616	15,271
繰延税金資産	41,144	40,188
その他	7,601	8,012
貸倒引当金(貸方)	△110	△100
流動資産	202,681	210,821
現金及び預金	71,725	80,045
受取手形及び売掛金	76,539	73,881
たな卸資産	42,156	42,706
その他	13,159	14,933
貸倒引当金(貸方)	△900	△743
合計	1,954,981	1,978,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債及び純資産の部		
負債の部		
固定負債	1,302,028	1,305,933
社債	670,000	610,000
長期借入金	482,230	547,499
退職給付に係る負債	36,981	36,175
資産除去債務	98,863	100,568
その他	13,952	11,690
流動負債	421,949	439,859
1年以内に期限到来の固定負債	176,911	200,243
短期借入金	52,370	45,820
コマーシャル・ペーパー	20,000	60,000
支払手形及び買掛金	41,042	42,971
未払税金	13,185	11,794
その他	118,439	79,029
特別法上の引当金	2,587	1,700
繰上準備引当金	2,587	1,700
負債合計	1,726,564	1,747,493
純資産の部		
株主資本	220,397	220,592
資本金	114,291	114,291
資本剰余金	46,153	47,786
利益剰余金	78,155	76,719
自己株式	△18,203	△18,205
その他の包括利益累計額	△3,505	△2,021
その他有価証券評価差額金	1,414	1,080
退職給付に係る調整累計額	△4,919	△3,101
非支配株主持分	11,524	12,408
純資産合計	228,417	230,979
合計	1,954,981	1,978,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	530,700	525,167
電気事業営業収益	508,738	498,663
其他事業営業収益	21,962	26,504
営業費用	501,219	509,134
電気事業営業費用	482,017	485,794
其他事業営業費用	19,201	23,339
営業利益	29,481	16,033
営業外収益	1,742	1,425
受取配当金	721	648
受取利息	13	16
その他	1,007	760
営業外費用	10,440	9,534
支払利息	9,158	8,400
持分法による投資損失	214	192
その他	1,068	940
四半期経常収益合計	532,442	526,592
四半期経常費用合計	511,659	518,668
経常利益	20,782	7,924
渴水準備金引当又は取崩し	1,405	△886
渴水準備金引当	1,405	—
渴水準備引当金取崩し(貸方)	—	△886
特別損失	4,067	—
災害特別損失	4,067	—
税金等調整前四半期純利益	15,310	8,811
法人税、住民税及び事業税	2,366	2,338
法人税等調整額	532	257
法人税等合計	2,898	2,596
四半期純利益	12,411	6,215
非支配株主に帰属する四半期純利益	253	313
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,158	5,902

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	12,411	6,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,738	△261
退職給付に係る調整額	2	1,961
その他の包括利益合計	△1,735	1,699
四半期包括利益	10,676	7,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,455	7,385
非支配株主に係る四半期包括利益	220	529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法を採用していたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更している。

電力事業を取り巻く事業環境は、電力システム改革により、小売・発電事業の全面自由化や、送配電事業における中立性・独立性の要請など、大きな変革を迎えている。また、北海道エリアの電力需要は人口の減少、省エネ機器の普及、経済成長率の鈍化などはあるものの、エアコン・電気自動車の普及による需要の増加の余地もあり、かつての高い伸びは期待できないが、安定的に推移する見込みである。

当社においては、2019年2月に石狩湾新港発電所1号機が営業運転を開始したことに加え、2019年3月に北本連系設備の増強工事が完了し、第1四半期連結会計期間から年間を通じ、稼働することとなった。これらの設備の稼働に伴い、当社の既設火力発電所の経年化への対応とともに、送配電設備については将来にわたり電力の安定供給確保が図られることとなった。

以上のような社内外の環境変化により、今後は発電設備や送配電設備をはじめとした保有資産の適切な維持運用に向けたリスク管理精度の向上に取り組むとともに、新たな知見・新技術を活用し、効率的な設備保全を進めることで、長期にわたって電力の安定供給を図っていくこととした。

こうした状況を踏まえ、当社及び一部の連結子会社設備の今後の使用実態をより適切に財務諸表に反映する方法として、耐用年数にわたり均等に費用配分を行う定額法が、減価償却方法として合理的であると判断したものである。

この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が18,829百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ18,790百万円増加している。